

V1.2
2026/05/22 版

ReUUL

いわてリフレクティブ・リーダー養成プログラム

いわて産学官民協創リーダーシップ講座 推進チーム

主担当講師：岩手大学客員准教授 高橋和氣

(運営：岩手大学 地域社会教育推進室)

ReUUL いわてリフレクティブ・リーダー養成プログラムとは

ReUUL

いわてリフレクティブ・リーダー養成講座

岩手の企業人向けに
産学官民が提供する講座

いわてリフレクティブ・リーダー
養成プログラム

Reflection × Unlearning × Upskilling × Leadership

(内省) (学びほぐし) (最新スキル獲得) (実践)

ReUUL（リウール）とは、
「リフレクション」「アンラーニング」「アップスキリング」「リーダーシップ」
の頭文字をとった造語で、岩手の産学官民の各機関が連携して、主に岩手の企業内
リーダー層向けの学びの環境を提供していくものです。

岩手県庁、教育機関、産業支援機関・金融機関など、県内の産学官民が協働する
「いわて高等教育機関地域連携プラットフォーム」が母体となり、この取り組みを
展開しています。

ReUULのコアプログラム。
岩手大学が運営して開催します。
ReUULのコンセプト内にある「リフレクション（効果的な内省）」を高めながら、
岩手の企業リーダーが「自己変容や組織変革を目指して、県内で同じように
学び合う仲間とともに、リーダーとしての器を拡張させる」8か月間のプログラム
です。7月上旬に開講し、2月中旬での成果報告会で「変革目標」を発表します。

いわてリフレクティブ・リーダー養成プログラム

ReUULのコアプログラム。岩手大学が運営して開催します。

ReUULのコンセプトのひとつでもある「リフレクション（効果的な内省）」を高めながら、岩手の企業リーダーが「自己変容や組織変革を目指して、県内で同じように学び合う仲間とともに、リーダーとしての器を拡張させる」8か月間のプログラムです。

7月上旬に開講し、2月中旬での成果報告会で「変革目標」を発表します。

研修のゴール：

変化の時代において、岩手の企業リーダーが「自己変容」と「組織やチームの変革」の目標を主体的に設定し、組織内で変革を主導できる“自律型リーダー”になることです。

7月
↓
9月

序盤ステージ

現代社会でのリーダーに必要とされる「リフレクションやアンラーニング」についての理解、AIの活用方法、そして県内での越境学習や、異業種交流学習を通して、企業リーダー自身の「ありたい姿」を明確化します。

9月
↓
11月

中盤ステージ

- ・組織論の各種講座（組織開発、組織変革、チームビルディング等）
- ・県内外の実践企業にご登壇いただき事例の深掘り
- ・越境学習や目標設定研修

中盤は、より「組織としてどのように変容すべきか」について学習を深め、受講生の自組織への反映について検討します。

12月
↓
2月

終盤ステージ

- ・人的資本経営等での東北内の先進事例を学ぶ
- ・プロジェクトマネジメント等を学び実践を考える

こうしたインプットもありながら、受講生は自社での変革目標を設定し、変革に向けて歩み始め、2月の報告会での発表を迎えます。

特色として

リフレクションの実務実践

特に「リフレクション(内省)」の技術は、受講生の実務現場で応用することで効果を発揮します。その進展を運営チームで後押しします。
(研修内で扱うワークシートも実務上での進展を意識するものになります)



コミュニティ・ラーニング

受講生同士での交流を重視し、成長を支え合う企業間の関係性を育みます。
(修了後に事業連携等への発展性も意識してコミュニティ形成します)



AI活用

「AIをどう活用できるか」という研修も含めて、受講生・運営チームともにAIを活用しながら、各ステージを進めていきます。AIの実務活用力を自然と高められるものになります。



対象者

「岩手県内の企業や団体に勤めているリーダー層」

現場リーダー、マネージャー、部課長、役員、経営者...等、組織内のリーダー・リーダー候補を対象としています。年齢制限はありませんが、主に30代～50代の方の受講を想定しています。なお、講座中盤ステージ以降「組織やチームの変革の目標」を自主的に作成することが求められます。こうした研修内容に適した方の受講が望ましいです。

Before

- ・これからリーダー側になるにあたって成長が期待されている
- ・リーダー階層にいるが「マネジメント」「リーダー」として学びを深める必要性
- ・時代の変化に合わせて自分自身をアップデートする必要性

- ・他部署や他組織との連携をもっとうまく図りたい
- ・チーム内での若手育成の課題
- ・上位組織のビジョンに合わせてチームの状態を変化させたい
- ・複雑に絡み合うチーム課題を整理して、チームをより良くしたい

受講者



所属する
組織やチーム



会社



- ・自己成長を自律的にマネジメントする
- ・現代の組織運営についての学びの獲得
- ・異業種の企業リーダーと仲間になる(今後の企業間連携への発展性)

- ・チーム変革の目標を受講生が自律的に設計する
- ・チームの行動変容に向けてプロジェクト管理をしてゆく

受講者の学びを
社内活用する

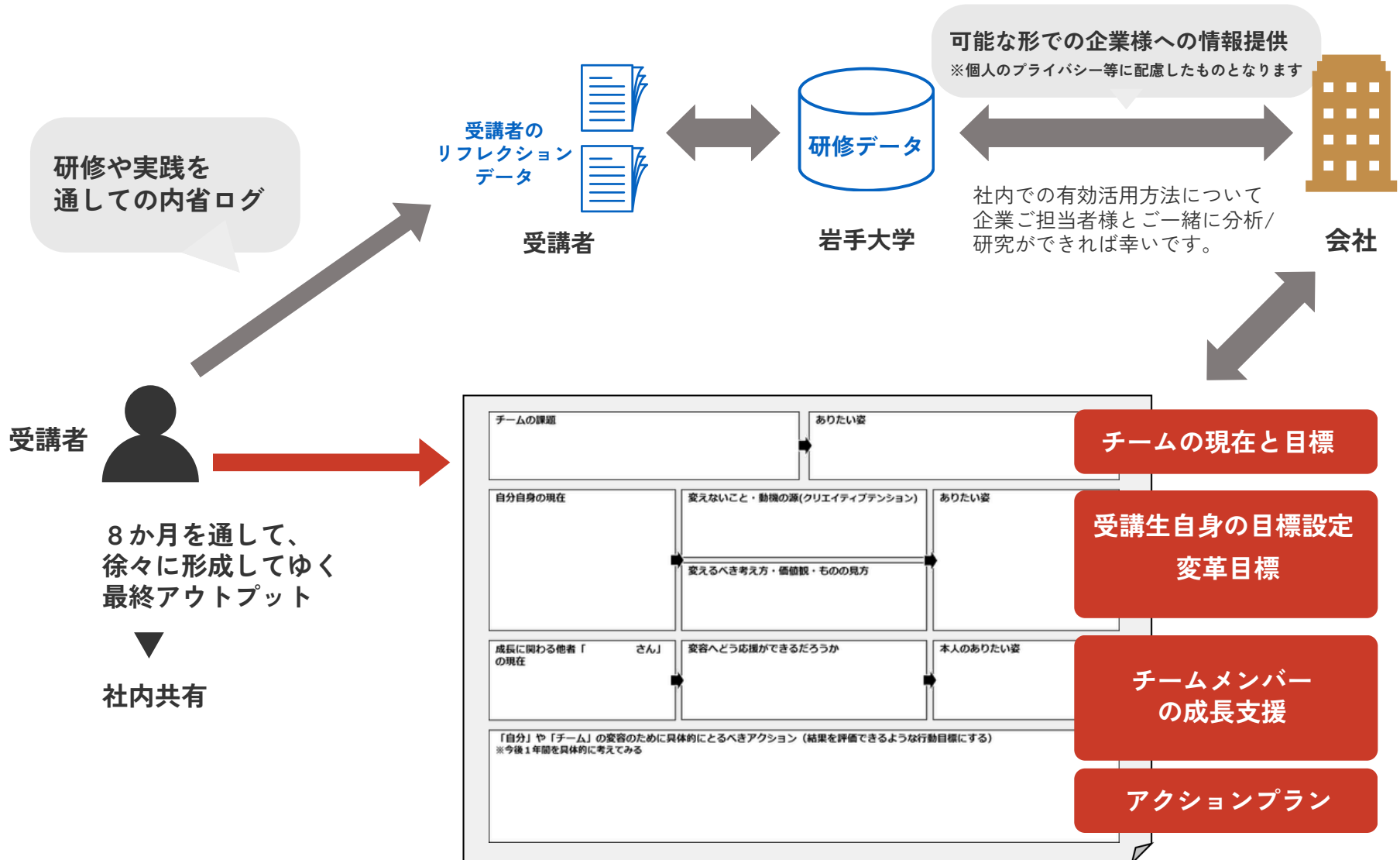
★ 「自他成長（自分とチーム内他者それぞれの成長）」にコミットできるようになる

★ 組織内での「対話」の力を上げていく(対話型組織開発)

After

【受講者のアウトプット】

講座や実践活動の中での「経験の振り返りデータ」を整理・分析し、派遣元企業様に適宜情報提供いたします。
 また、受講生それぞれが「自分自身」「チーム」「メンバー」の変革について、研修期間の中でまとめていきます。
 ※入力フォーム自体は本番は変わる可能性があります。



【運営メンバーとゲスト講師・受講生コミュニティ】



主担当講師・ファシリテーター
高橋和氣
(事業開発プランナー／岩手大学客員准教授)

盛岡市出身。
筑波大学大学院システム情報工学研究科修了（経営管理学修士）

大手家庭用品メーカーで業務改革プロジェクトや経営企画室に従事後、2017年に独立しUターン。
民間企業や行政の新規事業開発や業務推進支援に関わりながら、岩手県の起業家育成事業のビジネスプラン講座や岩手大学のアントレプレナーシップ教育の講師等も務める。
近年では若手～中堅まで幅広く社員研修等も手掛ける。



事業推進コーディネーター・受講生サポート
手塚さや香
(ライター、キャリアコンサルタント／岩手大学客員准教授)

さいたま市出身。
12年間毎日新聞記者として勤務した後、2014年から6年半、釜石リージョナルコーディネーター（復興支援員／釜援隊）として釜石地方森林組合で人材育成事業などを担当。
釜援隊の復興支援活動終了に伴い、2021年に独立し、フリーランスのライター、キャリアコンサルタント（国家資格）として活動。
（一社）「いわて地域おこし協力隊ネットワーク」マネージャーとして研修の企画・運営に携わっている



加えて多様なゲスト講師陣

AI活用、組織開発、チームビルディング等、県内外のゲスト講師陣による科目も準備しています。
また、岩手や宮城の企業を中心に、対話型組織や人的資本経営を実践する企業を事例紹介でお招きし、キーポイントを深める講座も用意しています。



【講座スケジュール（重点講座）】

重点講座：合計34時間分

（8回中7回以上の出席が参加条件です。欠席したものについては補習をお願いします）

※太字の項目はすべて参加をお願いします

ステージ	#	日程	講座内容	時間数
序盤	1	7月9日(木) 14時～18時	開講式・オリエンテーション（有識者講演とガイダンス）	4
	2	7月23日(木) 10時～17時	リフレクション導入研修（リフレクションの基礎を学ぶ）	6
	3	8月6日(木) 14時～18時	AI実践活用研修（リフレクションや業務実践にAIを活用する）	4
	4	9月10日(木) 14時～18時	自己変容目標の設定	4
中盤	5	12月3日(木) 14時～18時	組織のあるべき姿策定	4
終盤	6	12月24日(木) 14時～18時	アンラーニング重点研修	4
	7	1月28日(木) 14時～18時	変革目標設定	4
	8	2月18日(木) 13時～17時	成果報告会	4

【講座スケジュール（選択講座）】

※正式な日程は4月中旬頃に確定します

選択講座_合計57時間中：このうち約半数の26時間以上の受講（重点講座をすべて受講している場合）
 ※選択講座は、これに加えて、開講後に追加日程もあります

#	日程	講座内容	時間数	開催場所	オープンプログラム
1	8月21日(金) 15時～18時	対話やメタ認知に関する研修	3	岩手大学	
2	9月1日(火) 終日	釜石市内での越境スタディ（昼食代のみ実費負担）	6	釜石	
3	9月24日(木) 15時～18時	組織開発における時流を知る（外部講師予定）	3	岩手大学	◎
4	10月7日(水) 10時～12時	労使コミュニケーション	3	岩手大学	◎
5	10月14日(水) 15時～18時	AI活用実践②	3	岩手大学	
6	10月21日(水) 15時～18時	岩手県内企業から「対話を通じたビジョン形成」の事例を学ぶ	3	岩手大学	◎
7	10月28日(水) 終日	岩手県南のものづくり企業への越境スタディ（昼食代のみ実費負担）	6	県南	◎
8	11月2日(月) 15時～18時	組織変革のジレンマについて学ぶ（外部講師予定）	3	岩手大学	◎
9	11月16日(月) 15時～18時	チームビルディングの実践研修（外部講師予定）	3	岩手大学	◎
10	11月26日(木) 15時～18時	組織のアンラーニング（外部講師予定）	3	岩手大学	◎
11	12月9日(水) 15時～18時	人的資本経営の実践事例紹介	3	岩手大学	◎
12	12月～1月の土日2日間予定	合宿形式での越境学習（北上市内予定・滞在費実費負担）	9	北上	
13	1月14日(木) 15時～18時	プロジェクトマネジメント	3	岩手大学	
14	2月4日(木) 15時～18時	成果報告会に向けてのフォローアップ研修①	3	岩手大学	
15	2月10日(水) 15時～18時	成果報告会に向けてのフォローアップ研修②	3	岩手大学	

オープンプログラム：受講生以外でも聴講可能な講座で社内の方々も一緒に参加していただくことも可能です（席に限りあり）

【全体スケジュール（参考）】

主に中盤ステージ以降にこれ以外に選択可能な科目も追加される予定です。

#	日程	重点	選択	講座内容	時間数
1	7月9日(木) 14時～18時	○		開講式・オリエンテーション（有識者講演とガイダンス）	4
2	7月23日(木) 10時～17時	○		リフレクション導入研修（リフレクションの基礎を学ぶ）	6
3	8月6日(木) 14時～18時	○		AI実践活用	4
4	8月21日(金) 15時～18時		○	対話やメタ認知に関する研修	3
5	9月1日(火)（終日）		○	釜石市内での越境スタディ（昼食代のみ実費負担）	6
6	9月10日(木) 14時～18時	○		自己変容目標の設定	4
7	9月24日(木) 15時～18時		○	組織開発における時流を知る（外部講師予定）	3
8	10月7日(水) 10時～12時		○	労使コミュニケーション	3
9	10月14日(水) 15時～17時		○	AI活用実践②	3
10	10月21日(水) 15時～17時		○	岩手県内企業から「対話を通じたビジョン形成」の事例を学ぶ	6
11	10月28日(水)（終日）		○	岩手県南のものづくり企業への越境スタディ（昼食代のみ実費負担）	3
12	11月2日(月) 15時～17時		○	組織変革のジレンマについて学ぶ（外部講師予定）	3
13	11月16日(月) 15時～17時		○	チームビルディングの実践研修（外部講師予定）	3
14	11月26日(木) 15時～17時		○	組織のアンラーニング（外部講師予定）	3
15	12月3日(木) 14時～18時	○		組織のあるべき姿の策定	4
16	12月9日(水) 15時～18時		○	人的資本経営の実践事例紹介	3
17	12月24日(木) 14時～18時	○		アンラーニング重点研修	4
17	12月～1月の土日2日間予定		○	合宿形式での越境学習（北上市内予定・滞在費実費負担）	9
18	1月14日(木) 15時～17時		○	プロジェクトマネジメント	3
19	1月28日(木) 14時～18時	○		変革目標設定	4
20	2月4日(木) 15時～18時		○	成果報告会に向けてのフォローアップ研修①	3
21	2月10日(水) 15時～18時		○	成果報告会に向けてのフォローアップ研修②	3
22	2月18日(木) 13時～17時	○		成果報告会	4

【プログラム概要】

履修期間

2026年7月9日(木)～2027年2月18日(木)

受講料

おひとり10万円

(2026年度は文科省助成事業によりこの金額で開催)

開催場所

講義：岩手大学上田キャンパス

(一部、県内各地でのフィールドスタディ)

受講形態

対面方式

※一部オンデマンド対応やオンライン講座もありますが、助成金対象外となります。ご注意ください

講義時間数

・重点講座34時間

・選択講座57時間

(各講座は内容によって1回あたりの時間数が変わります)

修了要件

- ・合計60時間以上の履修
- ・各ステージおよびに期末課題の提出

応募資格

岩手県内に事業所のある企業・団体の構成員
(申し込みは企業の人事担当者よりお願いします)

※1企業で複数名の応募も可能です

募集定員

30名 (応募状況により選考とします。応募多数の場合は、1企業につき2名までの受講とさせていただきます。)

応募方法

ウェブフォームより
お申込みください

募集締め切り

2026年6月19日(金)

申し込みフォームQR

